

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：ビラあさやま

サービス種類： グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護（該当に)

日 時： 令和5年9月22日（金）

場 所： ビラあさやま

出席者： 6人（事業所職員より各委員、大田市職員へ内容報告し意見を聴取しました）

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	1人		
事業所職員（職名：管理者 生活相談員）			2人

報告事項：

1. 活動状況報告

1) ご利用者の状況

- ①登録者 27名
- ②要介護度 平均 2.2
- ③男女比率 男2 : 女8
- ④年齢 平均 85.8才
- ⑤地域別利用

久手・朝山・富山・波根・川合・久利・鳥井・大田

1) 活動内容

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) 交通安全教室 認知機能検査	4	屋外訓練(花見・ドライブ) 4/13 交通安全教室 4/27 認知機能検査 4/10~15 ボランティア(フラダンス) 4/26 伝習館(多肉植物) 4/15 屋外食 4/10.18

5	屋外訓練(花見) 野外食 火災避難消火訓練	5	屋外訓練(ローズガーデン) 5/18. 24 屋外訓練(おやつ持ちドライブ) 5/24 野外食(ピクニック) 5/11 野外食(かまどご飯) 5/24 火災避難消火訓練 5/26 ボランティア(手芸) 5/23
6	相愛保育園交流会 屋外訓練(日常生活動作訓練) 陶芸教室 家族介護教室	6	相愛保育園交流会 6/13 屋外訓練(日常生活動作訓練) 6/19 陶芸教室 6/12 屋外訓練(ドライブ) 6/22
7	野外食 七夕 食中毒予防・熱中症予防教室	7	七夕 7/7 家族介護教室 7/5 食中毒予防・熱中症予防教室 7/12. 13 ボランティア(看護師) 7/21 ボランティア(手芸) 7/19
8	野外食 地域・家族交流会 あけぼのこども園交流会 夏祭り	8	地域・家族交流会 8/10 あけぼのこども園交流会 ※中止 夏祭り 8/10. 19
9	敬老会 屋外訓練 食育教室 土砂災害避難訓練	9	敬老会 9/20. 21 食育教室 9/15
その他	喫茶、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア受入れなど		

- ・認知症状が進行すると施設入所等もある為、登録者、利用者の変動が見られる。
- ・以前は90歳代の方の利用も多かったが、最近では70歳代の団塊の世代の方の利用も増えてきている。
- ・各種行事はコロナウィルス感染に考慮しながら、規模を縮小したり、外部からの講師派遣を中止して職員が代行する等、工夫をして取り組むようにしている。
- ・家族介護教室は昨年度よりリハビリ、リハビリルーム活用に力を入れている為、家族、担当ケアマネジャーにリハビリ体験をしてもらう形で開催した。

2. 新型コロナウイルスについて

- ・別紙参照

上半期の新型コロナウイルス感染状況についての報告。

3. 利用者アンケートについて

- ・別紙参照

令和5年5月から1カ月間かけて、ご利用者、ご家族に満足度調査を実施。

リハビリを続けて欲しい、食事がおいしい、ドライブ三瓶に行きたい等の要望があった。また、施設についての質問に対して、中に入ったことがないのでわからないとの意見もあり、今後施設内を見学、体験できる方法を検討し実践する必要がある。(家族介護教室以前にアンケートを実施した為)

3) 感想・意見・要望

(運営推進会議委員)

- ・今年度より地域の役員を引き受けているが、地域で孤立しているのは高齢者だけではないと感じている。若い世代の孤立もこんなにあるのかと思っている。高齢者の方も自宅にいるばかりではなく、また施設内にいるばかりでなく、屋外訓練等で外出されていることは大変良い事だと思う。高齢者もどんどん外出して日光に当たって身体を動かして、食事をしっかり摂る事が大切だと思う。引き続き継続して取り組んで欲しい。
- ・自宅では会話も同じ話の繰り返しなので乏しくなってしまう、寝て過ごしていることがほとんど。通所介護利用をすることで脳トレや運動に取り組むメリハリのある生活が遅れているので喜んでいる。通所介護で積極的に活動して欲しい。

(市役所職員)

- ・別紙参照 (介護の入門的研修、RAN 伴タスキリレー、認知症予防講演会)